

【小学校国語】

小学校 国語

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p><b>【区域及び領域】</b></p> <p>主として「知識」に関する問題（A）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の3領域1事項の全てにおいて正答率が全国平均を上回っている。</li> <li>◆ 「言語事項」の「漢字を正しく書く」では、無解答率が全国平均を下回っているが、全国と同様、本校も高めである。</li> <li>◆ 「言語事項」の「ローマ字を書く」では、正答率が全国平均を上回っているが、全国と同様、本校も低くなっている。</li> </ul> <p>主として「活用」に関する問題（B）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域全てにおいて正答率が全国平均を上回っている。</li> <li>◆ 「書くこと」の「グラフを基に、分かったことを的確に書く」では、全国平均を上回っているが、全国と同様、本校も正答率が低くなっている。</li> <li>◆ 「書くこと」「読むこと」の「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」では、無解答率が全国平均を下回っているが、全国と同様、本校も高めである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり、書いたりすること。また、文や文章の中で適切に使うこと。</li> <li>● 日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書くこと。</li> <li>● 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。</li> <li>● 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文脈に沿って漢字を活用したり、言葉に対する知識を定着させたりするために言語活動を充実させ、日常から漢字を使用するようにかかわる。</li> <li>○ ローマ字で表記されたものを正しく読んだり、平仮名で表記されたものをローマ字で正しく書いたりできるような言語活動や言語環境を充実させる。</li> <li>○ 描写や説明を行うとき、相手や目的、意図に応じて、どのような引用をするのがよいのか、図表やグラフのいずれを用いるのがよいのかなど、記述の方法としてふさわしいものを考えるように習慣付ける指導をする。</li> <li>○ 「書くこと」と関連させ、筆者がどのような事実を理由や根拠としているのか、また、どのような意見や感想をもち、どのように主張しているのかなどについて、筆者の意図を想定しながら読み、自分の考えを明確にしていく言語活動を充実させる。</li> </ul>

※ 「言語事項」→「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

# 【小学校算数】

小学校  
算数

## 本校の概要

### 【区域及び領域】

#### 主として「知識」に関する問題（A）

- ◇ 「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の4領域の全てにおいて、正答率が全国平均を上回っている。
- ◆ 「量と測定」の「単位量当たりの大きさの求め方の理解」では、無解答率が全国平均を下回っているが、全国と同様、本校も高めである。
- ◆ 「数と計算」の「除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなること」の理解では、正答率が全国平均を上回っているが、全国と同様、本校も低く、全国平均との差も小さめである。

#### 主として「活用」に関する問題（B）

- ◇ 「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の4領域全てにおいて正答率が全国平均を上回っている。
- ◆ 「示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述する」設問では、全国平均を上回っているが、全国と同様、本校も正答率が低い。
- ◆ 「数と計算」の「示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述する」設問では、無解答率が全国平均を下回っているが、全国と同様、本校も高めである。

## 今回の調査における課題

- 異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について、その比べ方や表し方を理解できるようにすること。
- 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深めそれらを用いることができるようにすること。
- 算数の問題場面で見いだしたことを、図形の構成要素に着目して論理的に考察すること。
- 示された式の中の数値の意味を、他の数値や演算と関連付けて解釈し、それを言葉や数を用いて記述すること。

## 改善の方向

- 異なった二つの量の割合でとらえられる数量を比べる具体的な場面を用意し、既習の長さ比べや重さ比べと対比させながら、比や比例とも関連付けて指導する。
- 小数についての計算の意味や計算の仕方を、言葉、数、式、図、数直線を用いて考え、説明する活動を充実させる。
- 図形と式を関連付けて、式の意味を筋道立てて説明したり論理的に考えたりして、自ら納得したり他者にわかりやすく説明したりする学習活動を充実させる。
- 日常生活の事象と式を関連付け、式の意味や数値の意味を解釈し、説明する学習活動を充実させる。